科目基础		等専門学校	交 開講年度 平成30年月	度 (2018年度)	授業科目	電子回路 I	
<u></u> '	礎情報						
科目番号		0083		科目区分	専門 / 🤈	·····································	
授業形態	<u> </u>	授業		単位の種別と単	位数 履修単位	立: 2	
開設学科		電気電	子工学科	対象学年	3		
開設期	<u> </u>	通年		週時間数	2		
教科書/教	数材	教科書	: 丹野頼元「電子回路」森北出版参	考書:桜庭一郎,熊耳			
担当教員		柄澤 孝	<del>ž</del> —				
到達目	 標						
トランジ , FETの	スタ. FFT	Z,Y,h,Tパラ	各バイアス方法を説明できる. また ラメータで表現でき, 各種増幅回路の	, 特性曲線を用いて作 D動作量が導出できる.	図を行い, 電子 これらの内容を	回路の解析ができる. トランジスタ た満足することで, 学習・教育目標の	
ルーブ	リック						
			理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レ	ベルの目安	未到達レベルの目安	
評価項目1			電子回路の図式的解析法を説明 きる. また, 電子回路を設計 る.		的解析法を説明	で 電子回路の図式的解析法を説明できない.	
評価項目	12		トランジスタ, FETを等価回路現できる。また, それらを含ん基本的増幅回路の動作量を導出さる。	各で表 しだ トランジスタ, I 出で 現できる.	FETを等価回路で	で表 トランジスタ, FETを等価回路で 現できない.	
評価項目	13		各種増幅回路の動作を説明でき、また、それらの動作量を導き きる.		動作を説明でき	る 各種増幅回路の動作を説明できない.	
 学科の:	到達目標	項目との	<del></del>	<u> </u>		'	
		<u>д</u> С 0 /	NA NA				
教育方法	広守	1	ン フ ク - FFT+\ ビ の 454 キ フ + 四・・	た雨フロックチルかど	*+ (\w\_\_\\\	<b>经压同收去中,+ 4345、+ 1 + 24.5</b> ************************************	
概要		トラン  同調	ジスタ、FETなどの能動素子を用い 同調増幅回路,帰還増幅回路,電力	に電子回路の動作解析 増幅回路の動作原理を	法(凶式解析法 <sub>)</sub> 理解する	等価回路を用いた解析法)を学び,	
受業の進	め方・方法				- <u></u> 11T / O·		
文末・グに	<u> </u>		,			 評価し,合計の6割以上を獲得した者を	
注意点		室可.   <先修   <備考	イスノブーン版議後 10:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 ** 17:00 **	· :子計測,講習科目は半	導体工学, 論理	この時間にとらわれず必要に応じて系 回路ならびに電子回路IIとなる. と、および電気回路の基礎項目が理解:	
142344 = 1 -	_	10 (1)	OCCARICED COO.				
授業計	画	'			油ブレク型字に		
授業計	画	週	授業内容		週ごとの到達目	標	
授業計	画	'			能動素子と受動	標  素子の違いについて説明できる.	
授業計 <u>i</u> ———	画	週	授業内容		能動素子と受動トランジスタ,	l標 )素子の違いについて説明できる. FETの実物と回路記号及び種類,動作	
<u>授業計</u>	画	週 1週 2週 3週	授業内容 電子回路の機能,能動素子 トランジスタ・FETの種類 電流増幅率		能動素子と受動トランジスタ, について説明でベース接地とエ・・	l標 b素子の違いについて説明できる. FETの実物と回路記号及び種類,動作 きる. ニミッタ接地の電流増幅率を計算できる	
授業計		週 1週 2週 3週 4週	授業内容 電子回路の機能,能動素子 トランジスタ・FETの種類 電流増幅率 能動素子の基本接続,バイアス方		能動素子と受動トランジスタ,について説明でベース接地とコ・	は標 対素子の違いについて説明できる。 FETの実物と回路記号及び種類,動作 できる。 ニミッタ接地の電流増幅率を計算できる FETの基本接続を説明できる。	
<u>授業計</u>	画 1stQ	週 1週 2週 3週	授業内容 電子回路の機能,能動素子 トランジスタ・FETの種類 電流増幅率		能動素子と受動トランジスタ, について説明でベース接地とエ・・	間標 力素子の違いについて説明できる. FETの実物と回路記号及び種類,動作 きる. ニミッタ接地の電流増幅率を計算できる FETの基本接続を説明できる.	
授業計		週 1週 2週 3週 4週	授業内容 電子回路の機能,能動素子 トランジスタ・FETの種類 電流増幅率 能動素子の基本接続,バイアス方 接地方式,固定・自己・電流帰還 電子回路の図式的解析法(1)		能動素子と受動トランジスタ,について説明でベース接地とコ・トランジスタ,各バイアス方法トランジスタの路の解析ができ	は標 対素子の違いについて説明できる。 FETの実物と回路記号及び種類,動作 できる。 ミッタ接地の電流増幅率を計算できる。 FETの基本接続を説明できる。 を説明できる。 特性曲線を用いて作図を行い,電子回	
授業計		週 1週 2週 3週 4週 5週	授業内容 電子回路の機能,能動素子 トランジスタ・FETの種類 電流増幅率 能動素子の基本接続,バイアスた 接地方式,固定・自己・電流帰還		能動素子と受動トランジスタ、について説明でベース接地とエトランジスタ、各がイアス方法トランジスタの路の解析ができ	間標 対素子の違いについて説明できる。 FETの実物と回路記号及び種類,動作 できる。 こミッタ接地の電流増幅率を計算できる。 FETの基本接続を説明できる。 を説明できる。 特性曲線を用いて作図を行い,電子回	
		週 1週 2週 3週 4週 5週 6週	授業内容 電子回路の機能,能動素子 トランジスタ・FETの種類 電流増幅率 能動素子の基本接続,バイアス方 接地方式,固定・自己・電流帰還 電子回路の図式的解析法(1)		能動素子と受動トランジスタ, について説明でベース接地とエ・トランジスタ, 各バイアス方法トランジスタの路の解析ができる.	は標 対素子の違いについて説明できる。 FETの実物と回路記号及び種類,動作 できる。 ミッタ接地の電流増幅率を計算できる。 FETの基本接続を説明できる。 を説明できる。 特性曲線を用いて作図を行い,電子回 できる。	
		週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週	授業内容 電子回路の機能,能動素子 トランジスタ・FETの種類 電流増幅率 能動素子の基本接続,バイアス方 接地方式,固定・自己・電流帰還 電子回路の図式的解析法(1) 電子回路の図式的解析法(2)		能動素子と受動トランジスタ、について説明でベース接地とエトランジスタ、各バイアス方法トランジスタの路の解析ができる。 FETの特とはができる。	は標 対素子の違いについて説明できる。 FETの実物と回路記号及び種類,動作 できる。 ミッタ接地の電流増幅率を計算できる。 FETの基本接続を説明できる。 を説明できる。 特性曲線を用いて作図を行い,電子回 できる。	
		週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週	授業内容 電子回路の機能,能動素子 トランジスタ・FETの種類 電流増幅率 能動素子の基本接続,バイアス方 接地方式,固定・自己・電流帰還 電子回路の図式的解析法(1) 電子回路の図式的解析法(2) 電子回路の図式的解析法(3)	<b>ジ</b> イアス	能動素子と受動トランジスタリーのでは、 トランジスタクリーのというできる。 トランジスタクのというできる。 トランジスタのというできる。 FETの特性曲線ができる。 アロリーのできる。 アロリーのできる。 アロリーのできる。 アロリーのできる。 アロリーのできる。 アロリーのできる。 アロリーのできる。 アロリーのできる。 アロリーのできる。 アロリーのできる。 アロリーのできる。 アロリーのできる。	標 対索子の違いについて説明できる。 FETの実物と回路記号及び種類,動作きる。 こミッタ接地の電流増幅率を計算できる。 FETの基本接続を説明できる。 を説明できる。 が特性曲線を用いて作図を行い,電子回路の解析 できれて作図を行い,電子回路の解析 できたことを整理し,説明できる。	
授業計		週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週	授業内容 電子回路の機能,能動素子 トランジスタ・FETの種類 電流増幅率 能動素子の基本接続,バイアス方 接地方式,固定・自己・電流帰還 電子回路の図式的解析法(1) 電子回路の図式的解析法(2) 電子回路の図式的解析法(3) これまでのまとめ	プバイアス T法(1)	能動素子と受動トランジスタ、について接地とコンジスタ、トランジスタ、各バーンジススタ、各バーンジススタがある。 ドモTの特る・ドモTの特る・アルカーできる。 アモアの特別できる・アロックではあった。 アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックでは、アロックではでは、アロックでは、アロックではではではではなりではではなりではではなりではではではではではなりではではではでは	は標的素子の違いについて説明できる。 FETの実物と回路記号及び種類,動作できる。 ことの夕接地の電流増幅率を計算できる。 FETの基本接続を説明できる。 を説明できる。 特性曲線を用いて作図を行い,電子にいる。 を用いて作図を行い,電子回路の解析を用いて作図を行い,電子回路の解析ができたことを整理し,説明できる。 ET形等価回路で表現できる。	
		週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週	授業内容 電子回路の機能,能動素子 トランジスタ・FETの種類 電流増幅率 能動素子の基本接続,バイアス方 接地方式,固定・自己・電流帰還 電子回路の図式的解析法(1) 電子回路の図式的解析法(2) 電子回路の図式的解析法(3) これまでのまとめ 等価回路を用いた電子回路の解析	ンパイアス T法(1) T法(2)	能動素子と受動トについて、 トランス は ジスススタの さい で ・ トラ が で ・ トラ が で ・ トラ が で ・ トラ か で ・ トラ か で ・ トラ ・ ドモ で ・ カー ・ アー	は標り素子の違いについて説明できる。 FETの実物と回路記号及び種類,動作さる。 こまッタ接地の電流増幅率を計算できる。 FETの基本接続を説明できる。 を説明できる。 特性曲線を用いて作図を行い,電子回路の解析を用いて作図を行い,電子回路の解析がある。 できたことを整理し、説明できる。 T形等価回路で表現できる。 T形等価回路で表現できる。  「一個路を Z , Y , h パラメータで表現できる。 を持性との関係を説明できる。各接地	
	1stQ	週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週	授業内容 電子回路の機能,能動素子 トランジスタ・FETの種類 電流増幅率 能動素子の基本接続,バイアス方 接地方式,固定・自己・電流帰還 電子回路の図式的解析法(1) 電子回路の図式的解析法(2) 電子回路の図式的解析法(3) これまでのまとめ 等価回路を用いた電子回路の解析 等価回路を用いた電子回路の解析	デ法(1) T法(2) T法(3)	能動素子と受動トランスタので、	は標り素子の違いについて説明できる。 FETの実物と回路記号及び種類,動作さる。 こまッタ接地の電流増幅率を計算できる。 FETの基本接続を説明できる。 を説明できる。 特性曲線を用いて作図を行い,電子回路の解析を用いて作図を行い,電子回路の解析がある。 できたことを整理し、説明できる。 T形等価回路で表現できる。 T形等価回路で表現できる。  「一個路を Z , Y , h パラメータで表現できる。 を持性との関係を説明できる。各接地	
	1stQ	週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週	授業内容 電子回路の機能,能動素子 トランジスタ・FETの種類 電流増幅率 能動素子の基本接続,バイアス方 接地方式,固定・自己・電流帰還 電子回路の図式的解析法(1) 電子回路の図式的解析法(2) 電子回路の図式的解析法(3) これまでのまとめ 等価回路を用いた電子回路の解析 等価回路を用いた電子回路の解析 等価回路を用いた電子回路の解析	がイアス T法(1) T法(2) T法(3) T法(4)	能動素シンでは、	は標り素子の違いについて説明できる。 FETの実物と回路記号及び種類,動作できる。 こミッタ接地の電流増幅率を計算できる。 FETの基本接続を説明できる。 を説明できる。 か特性曲線を用いて作図を行い,電子回路の解析がある。 を用いて作図を行い,電子回路の解析ができたことを整理し,説明できる。  TT形等価回路で表現できる。  TT形等価回路で表現できる。  「他回路をZ, Y, hパラメータで表現の解析がある。  「おいて作図を行い。 「おいて作図を行い。」 「おいてが、またいできる。 「おいてが、またいできる。」 「ないできるいできる。」 「ないできるいできるいできる。」 「ないできるいできるいできる。」 「ないできるいできるいできる。」 「ないできるいできるいできる。」 「ないできるいできるいできる。」 「ないできるいできる。」 「ないできるいできるいできる。」 「ないできるいできるいできる。」 「ないできるいできるいできる。」 「ないできるいできるいできる。」 「ないできるいできるいできる。」 「ないできるいでき	
	1stQ	週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週	授業内容 電子回路の機能,能動素子 トランジスタ・FETの種類 電流増幅率 能動素子の基本接続,バイアス方接地方式,固定・自己・電流帰還電子回路の図式的解析法(1) 電子回路の図式的解析法(2) 電子回路の図式的解析法(3) これまでのまとめ 等価回路を用いた電子回路の解析 等価回路を用いた電子回路の解析 等価回路を用いた電子回路の解析 等価回路を用いた電子回路の解析	がイアス T法(1) T法(2) T法(3) T法(4)	能動ランス スタ明 と マラッス で 、 トランス スタ明 と ススススが 性	は標的素子の違いについて説明できる。 FETの実物と回路記号及び種類,動作できる。 ことの夕接地の電流増幅率を計算できる。 を説明できる。 を説明できる。 特性曲線を用いて作図を行い,電子回路の解析を用いて作図を行い,電子回路の解析を用いて作図を行い,電子回路の解析を用いて作図を行い,電子回路の解析を用いて作図を行い,電子回路の解析を用いて作図を行い,電子回路の解析ができたことを整理し,説明できる。  ETT形等価回路で表現できる。  静特性との関係を説明できる。各接地ラメータを用いたトランジスタ等価回路を表現できる。	
	1stQ	週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週	授業内容 電子回路の機能,能動素子 トランジスタ・FETの種類 電流増幅率 能動素子の基本接続,バイアス方接地方式,固定・自己・電流帰還電子回路の図式的解析法(1) 電子回路の図式的解析法(2) 電子回路の図式的解析法(3) これまでのまとめ 等価回路を用いた電子回路の解析 等価回路を用いた電子回路の解析 等価回路を用いた電子回路の解析 等価回路を用いた電子回路の解析 等価回路を用いた電子回路の解析	がイアス T法(1) T法(2) T法(3) T法(4)	能動ランス スタ明 と マラッス で 、 トランス スタ明 と ススススが 性	は標り素子の違いについて説明できる。 FETの実物と回路記号及び種類,動作きる。 こミッタ接地の電流増幅率を計算できる。 を説明できる。 を説明できる。 特性曲線を用いて作図を行い,電子回路の解析を用いて作図を行い,電子回路の解析を用いて作図を行い,電子回路の解析できたことを整理し,説明できる。 まて形等価回路で表現できる。 を指回路を Z , Y , h パラメータで表現を計算がある。 はままれている。 を表現できる。	
	1stQ	週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週	授業内容 電子回路の機能,能動素子 トランジスタ・FETの種類 電流増幅率 能動素子の基本接続,バイアス方 接地方式,固定・自己・電流帰還 電子回路の図式的解析法(1) 電子回路の図式的解析法(2) 電子回路の図式的解析法(3) これまでのまとめ 等価回路を用いた電子回路の解析 等価回路を用いた電子回路の解析 等価回路を用いた電子回路の解析 等価回路を用いた電子回路の解析 等価回路を用いた電子回路の解析 等価回路を用いた電子回路の解析 等価回路を用いた電子回路の解析 等価回路を用いた電子回路の解析	元法(1) 元法(2) 元法(3) 元法(4) 元法(5)	能動ランス スタース シンスス アジボー はいます シンス スタース シンイン かんき いっさい カーカー カーカー カーカー カーカー カーカー カーカー カーカー カー	は標的素子の違いについて説明できる。 FETの実物と回路記号及び種類,動作さきる。 ことッタ接地の電流増幅率を計算できる。 を説明できる。 特性曲線を用いて作図を行い,電子回路の解析を用いて作図を行い,電子回路の解析を用いて作図を行い,電子回路の解析を用いて作図を行い,電子回路の解析を用いて作図を行い,電子回路の解析を用いて作図を行い,電子回路の解析のできたことを整理し,説明できる。 ETT形等価回路で表現できる。 を計算性との関係を説明できる。各接地ラメータを用いたトランジスタ等価回路を表現できる。 「会子」を表現できる。 「会子」といる。 「会子」といる。 「会子」といる。 「会子」といる。「会子」といる。 「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」というできる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる	
	1stQ	週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週	授業内容 電子回路の機能,能動素子 トランジスタ・FETの種類 電流増幅率 能動素子の基本接続,バイアス方 接地方式,固定・自己・電流帰還 電子回路の図式的解析法(1) 電子回路の図式的解析法(2) 電子回路の図式的解析法(3) これまでのまとめ 等価回路を用いた電子回路の解析 等価回路を用いた電子回路の解析 等価回路を用いた電子回路の解析 等価回路を用いた電子回路の解析 等価回路を用いた電子回路の解析 等価回路を用いた電子回路の解析 等価回路を用いた電子回路の解析 等価回路を用いた電子回路の解析	デ法(1) T法(2) T法(3) T法(4) T法(5)	能動ランス スタリス スタリス スタリス スタリス スタリス スタリス スタリス シンイン が は ススススが 性 は ススススが 性 は ススススが 性 は カーラ き パ式表 接 ラーチ で カーラ き パ ス スタ ア ジ ジー・メ よで カーラ る ま ス の 雑 タ タ タ タ タ タ タ タ タ タ タ タ タ タ タ タ タ タ	は標的素子の違いについて説明できる。 FETの実物と回路記号及び種類,動作さきる。 ことッタ接地の電流増幅率を計算できる。 を説明できる。 特性曲線を用いて作図を行い,電子回路の解析を用いて作図を行い,電子回路の解析を用いて作図を行い,電子回路の解析を用いて作図を行い,電子回路の解析を用いて作図を行い,電子回路の解析を用いて作図を行い,電子回路の解析のできたことを整理し,説明できる。 ETT形等価回路で表現できる。 を計算性との関係を説明できる。各接地ラメータを用いたトランジスタ等価回路を表現できる。 「会子」を表現できる。 「会子」といる。 「会子」といる。 「会子」といる。 「会子」といる。「会子」といる。 「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」というできる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる。「会子」といる	
	1stQ	週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週	授業内容 電子回路の機能,能動素子 トランジスタ・FETの種類 電流増幅率 能動素子の基本接続,バイアス方 接地方式,固定・自己・電流帰還 電子回路の図式的解析法(1) 電子回路の図式的解析法(2) 電子回路の図式的解析法(3) これまでのまとめ 等価回路を用いた電子回路の解析 等価回路を用いた電子回路の解析 等価回路を用いた電子回路の解析 等価回路を用いた電子回路の解析 等価回路を用いた電子回路の解析 等価回路を用いた電子回路の解析 等価回路を用いた電子回路の解析 等の回路を用いた電子回路の解析 を開いた電子回路の解析 に回路を用いた電子回路の解析 を開いた電子回路の解析 を開いた電子回路の解析 を開いた電子回路の解析 の路を用いた電子回路の解析 を開いた電子回路の解析	デ法(1) T法(2) T法(3) T法(4) T法(5)	能動うに べ・ト 各 ト 路 FEが こ ト トで ト 方を 接 ラ 子 ラる 作 一出 素 ンいス ンイン解 特る 下 ETで れ ラ ラき パ式表 接 ラ 子 ラる 作 一出 スススが 性・ 性・ 学 ス スータもき 式 ス の エ スで あんる とう ア ジ が とり が る ま で が が る ま で が か の 、 き か で あ か で あ が る とり で か で あ か で あ か で あ か で あ か で あ か で あ か で あ か で あ か で あ か で あ か で る き 式 ス の 雑 タ 増 で る ト 電 ト き 動 ケ る き 式 ス の 雑 タ 増 で る ト 電 ト き 動 で る き 式 ス の 雑 タ 増 で る ト で か で か で あ か で あ か で あ か で あ か で あ か で あ か で あ か で あ か で あ か で あ か で あ か で あ か で あ か で あ か で あ か で あ か で あ か で あ か で あ か で あ か で あ か で あ か で あ か で か で	は標り素子の違いについて説明できる。 FETの実物と回路記号及び種類,動作できる。 こまッタ接地の電流増幅率を計算できる。 を説明できる。 を説明できる。 特性曲線を用いて作図を行い,電子回路の解析を用いて作図を行い,電子回路の解析を用いて作図を行い,電子回路の解析を用いて作図を行い,電子回路の解析を用いて作図を行い,電子回路の解析ができたことを整理し,説明できる。 ET形等価回路で表現できる。 を計算性との関係を説明できる。各接地ラメータを用いたトランジスタ等価回路を表現できる。 FETの高周波等価回路を表現できる。 FETの高周波等価回路を表現できる。 FETの高周波等価回路を表現できる。 を対視について説明できる。	

		5週	RC結合	結合増幅回路(1)			中域,低域のRC結合増幅回路の等価回路から動作量を 導出できる.			
		6週	RC結合増幅回路(2)				高域のRC結合増幅回路の等価回路から動作量を導出できる。			
		7週	これまでのまとめ				これまで学習してきたことを整理し,説明できる.			
	4thQ	8週	RC結合形単一同調増幅回路(1)			RC結合形単一同調増幅回路の等価インピーダンスについて導出できる.				
		9週	RC結合形単一同調増幅回路(2)			RC結合形単一同調増幅回路の電流または電圧の相対利得について説明できる.				
		10週	帰還増幅回路(1)				帰還する利点, 負帰還増幅回路の動作について説明でき さ。.			
		11週	帰還増幅回路(2)				帰還する利点,負帰還増幅回路の動作について説明できる.増幅回路の電流・電圧利得,帰還率について導出で きる.			
		12週	帰還增幅回路(3)				増幅回路の電流・電圧利得,帰還率について導出で きる.			
		13週	電力増幅回路(1)				各電力増幅回路の動作を説明できる. コレクタ (ドレーン) 効率を導出できる.			
		14週	電力増幅回路(2)				各電力増幅回路の動作を説明できる. コレクタ (ドレーン) 効率を導出できる.			
		15週	電力増幅回路(3)				各電力増幅回路の動作を説明できる. コレクタ(ドレーン)効率を導出できる.			
		16週	学年末達成度試験							
評価割合	ì									
		試験		小テスト	平常点	レポー	- ト	その他	合計	
総合評価割	合	70		0	0	30		0	100	
配点		70		0	0	30		0	100	